

心に残る文化財子ども塾 学習指導案

日 時：平成30年6月8日（金）

9：35～12：10（2～4校時）

場 所：邑南町立瑞穂小学校

6年教室 体育館 理科室

対象者：邑南町立瑞穂小学校 6年生19名

指導者：担任

島根県埋蔵文化財調査センター職員（2名）

邑南町教育委員会職員（1名）

1. 主題（主題名） 奈良の大仏と古代の邑南町

2. ねらい

- ・地域を素材とした歴史学習を通して、歴史・文化財に対する興味・関心を高める。
- ・「奈良の大仏」について、体験的、専門的に学び、巨大さとともに、先人の思いについても知る。
- ・和同開珎を製作する体験を通して、古代の人々の生活や技術を考える。

3. 展開

（2）本時の展開

時間	学 習 活 動	指導者の支援及び留意点	準備物
9：35	1. 学習の見通しをもつ。（6年教室） ・講師の紹介 ・学習の流れをつかむ。	・講師の仕事や研究成果等を話す。 ・学習の流れを掲示する ・学校周辺の遺跡を紹介する。	プロジェクター パソコン 延長コード 説明用データ
9：40 ～ 10：15	2. 古墳時代や奈良時代について学ぶ。 （6年教室） ・学校周辺の遺跡について学ぶ ・出土品についての説明を聞く。		長机2 出土品
10：25 ～ 11：00	3. 奈良の大仏の巨大さを体験する。（体育館） ・1m四方の部品をパズル形式で組み立て、高さ18mの大仏を完成させる。 ・大仏が造られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。 ・独特な仏像の作風について質問し、疑問を解く。	・奈良の大仏の実物大パネルを活用。 ・理解しやすい写真パネルを多用。 ・一方的な説明に終始せず、子どもたちの「気付き」を大切にする。 質疑応答の対話形式で進行。	大仏パネル 解説パネル
11：10 ～ 12：00	4. お金の歴史について学ぶ。（理科室） ・古代のお金について知る。 ・和同開珎を作る。	・和同開珎について説明する。 ・和同開珎の作り方、古代の技術について理解できるようにする。	和同開珎セット 軍手 新聞紙 資料 活動説明資料
12：00 ～ 12：10	5. 学習をふり返り、感想を発表する。 （理科室）	・授業全体をふり返り、学習した内容を整理する。 ・質問や感想を発表する。	

4. 準備物

- ・学 校…プロジェクター、スクリーン、長机2つ、延長コード、パソコン、新聞紙、カメラ
- ・児 童…ノート、筆記用具、軍手
- ・埋蔵文化財調査センター…大仏パネル（含解説パネル）、和同開珎セット、資料、活動説明資料、カメラ
- ・邑南町教育委員会…説明用データ（パワーポイント）、出土品